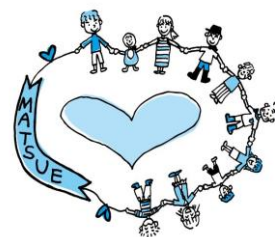


きずな



まつえ障がい者サポートステーション絆（サポート絆）では、障がいのある方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていけるように、障がい者の立場に立った支援をしています。

アセスメント力向上事例検討会を開催いたしました！

H30年7月18日開催

前年度より松江市総合支援協議会（現：松江市社会福祉審議会、障がい者福祉専門分科会）において「65歳移行問題検討チーム」が立ち上がっており、障がい福祉と介護の連携が重要になっております。そこで、障がい児者相談支援専門員・包括支援センター相談員・介護支援専門員が一同に会し、「野中式」事例検討会を開催いたしました。当日はファシリテーター兼講師に 東 美奈子 様を迎え、43名の方にご参加頂きました。今回の事例検討会では、様々な気付きや経験が共有でき、事例を深く理解し、支援策を検討する機会となりました。

障がいと介護の連携のイメージが出来て良かった。

背景に何があるのかを想像したり、考える力を身に付けていきたい。アセスメントを深めることが大切だと思った。

情報収集の仕方、アプローチの仕方を考えることができた。

本人、ご家族の心の中、バックグラウンドまで考えるにあたり、勉強になった。

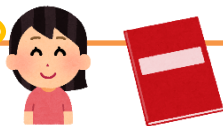


「野中式事例検討」とは…？

日本福祉大学研究フェロー、日本精神障害者リハビリテーション学会会長等を歴任された故野中猛先生が生み出し、全国各地で実践されている事例検討の方法です。ホワイトボードを駆使して議論を「見える化」し、前半に見立て（アセスメント）と後半に手立て（支援計画）を検討するという手法です。

先生は、2013年7月24日にご逝去なされました。

～相談員の気になる一冊～



「すぐそばにある『貧困』 大西連 著 ポプラ社

著者は、「自立生活サポートセンター・もやい」理事長で、生活困窮の相談支援に日々奔走している、大西連さんです。高校卒業後、フリーターをしていた時にたまたま友人に誘われて、ホームレスの人たちへの炊き出しボランティアに関わったことをきっかけに、ホームレス支援の最前線に立つことになった大西さん。「自分とは違う世界の話だと思っていた『貧困』は、別の誰かの話ではない。一口にホームレスといっても、10人いれば10通りのストーリーがある。貧困の最前線で出会った彼ら、彼女らの苦しさや生きづらさ、涙、笑顔、そして言葉を忘れてはいけない・・・。」そんな大西さんの言葉が印象的な一冊です。(さくらの家：山本)



情報コーナー

サポートステーション絆で作成いたしました、『障がいのある方のための安心生活サポートブック』につきましては、大変好評をいただいております。より多くの皆様のお目にかかれるよう、松江市社会福祉協議会のホームページにも掲載しております。ぜひご活用ください。(PDF形式)



『松江市社会福祉協議会』⇒『障がいのある方に関すること』⇒『まつえ障がい者サポートステーション「絆」』⇒『障がいがあるかたのための安心生活サポートブック』

また、『まつえ障がい福祉ガイドマップ～放課後等デイサービス編～』も2018年版を作成しております。こちら合わせてご活用ください。(PDF形式)



『松江市社会福祉協議会』⇒『障がいのある方に関すること』⇒『まつえ障がい者サポートステーション「絆」』⇒『まつえ障がい福祉ガイドブック～放課後等デイサービス編～2018年度版』

福祉を学ぶ学生が『絆』に実習にこられました



私は実習を通して、「絆」は障がいのある人や、その周りの人の困りごとや悩みを聞くという役割と、サービスの利用につなげる役割があると学びました。障がいのある人やその周りの人にとって、なんでも相談できるうえに、サービスの利用につなげることのできる「絆」は、必要な場所であると感じました。短い期間の実習ではありましたが、他にも多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。



Aさん

～研修のご案内～



『安心して暮らせる地域共生社会を目指して～無縁から有縁へ ともにつながるまち～』(仮題)

平成31年2月22日(金)

13:30～16:30(予定)

松江総合福祉センター4階大ホール

基調講演：NPO法人抱樸

理事長 奥田 知志 氏



まつえ障がい者サポートステーション絆

所在地

〒690-0852 松江市千鳥町 70

(松江市社会福祉協議会内)

TEL 0852-60-0400

FAX 0852-21-4001

E-mail : s-kizuna@web-sanin.co.jp

HP http://www.shakyou-matsue.jp

開所日 月～金曜日

開所時間 9:00～17:00

(土、日、祝日、年末年始を除く)

(事務局 花井)



編集後記
サポートステーション絆が発足して早8年経ちました。私はまだ2年目のお付き合いです。市民の皆様は少いですが、市民の皆様は少いですが、周知できてきたかなと感じます。最近絆に入る相談は、複雑な問題を抱えたケースが多くなってきています。地域の皆様は心配だなと思われたら、ぜひ専門職につないでいただければと思います。